子どもたちを守るのは、誰ですか?

子どもたちを犯罪から守るのは、子どもを思う揺るぎない心です。

子どもたちに健やかで安全なまちを

さまざまな情報が氾濫する現在、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、子どもたちが犠牲になる事件や少年犯罪が相次いで発生しています。しかし、子どもたちが心身ともに健やかに育つことは、すべての人の願いであり、大人たちには子どもたちを健やかに育てる責任があります。

今回の特集は、県内の少年犯罪や被害等の状況と、その中で行政と地域が一緒に取り組んでいる活動を紹介します。私たち大人は何を考え、何をすべきか、今後の地域社会のあり方も含め、家族や地域のみなさんが一緒に考える礎になっていただければと思います。

地域みんなで守る!

登下校の安全対策は万全ですか?

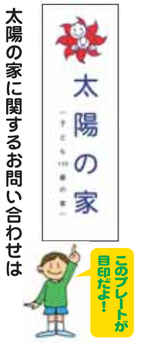
昨今、子どもを巻き込んだ誘拐・拉(ら)致・強制わいせつ等の凶悪事件や未遂事件が多発傾向にあります。特に下校時にも十分な警戒が必要になっています。現在市内各学校区では次のような対策が実施され、市民のみなさんへのご協力を呼びかけています。

▽緊急避難所(太陽の家)の指定確保

那覇警察署では、子どもたちを犯罪から守るために、緊急時に駆け込むことができる「太陽の家(こども110番の家)」として民家や商店等に委嘱しています。

「太陽の家」では、駆け込んできた児童・生徒を一時保護をし、110番通報並びに学校、保護者等への連絡や児童・生徒を保護するための各種情報を提供し、犯罪の未然防止に努めています。

県内では現在、3459カ所の「太陽の家」が設置され、多くの住民や事業所のみなさんが、子どもたちを犯罪から守るために各種活動を推進しています。



太陽の家に関するお問い合わせは
那覇警察署少年課 ☎836-0110

▽校区内安全マップの作製・配布

市内の学校やPTAでは、「太陽の家」の所在地やひと気が無い場所を示した、校区内の安全マップを作成し、配付しています。

▽昼間の安全パトロールの実施

車への防犯ステッカーや防犯腕章や防犯カードを着用したパトロールを実施しています。

マップの有無に関するお問い合わせは、お近くの小学校、中学校へご連絡ください。

子どもたちが作る「地域安全マップ」

沖縄県では、すべての人が安全に安心して暮らせる社会をめざすために、「ちゅらさん運動」を展開しています。

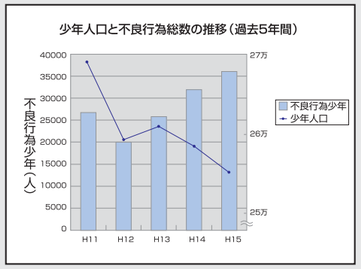
沖縄県警察では、子どもたちで作る「地域安全マップ」の作製に取り組んでいます。子どもたちの目線で通学路を中心に点検を行い、危険箇所などのポイントをマップにしていくことで、子どもたちの危険回避能力を高め、被害の未然防止に役立てようというものです。

さらに、子どもたちのコミュニケーション能力の低下は、非行防止に結びつきやすいと言われていますが、マップ作りを通してお友達どうしで話し合い、地域の人々へのインタビューで、コミュニケーション能力を高めることができます。「地域安全マップ」づくりは、被害防止だけでなく非行防止にも期待できるのです。地域のみなさん、子どもたちの調査にご協力ください。

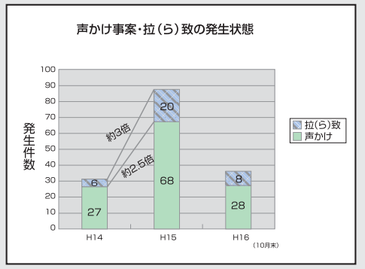
「ちゅらさん運動・地域安全マップ」に関するお問い合わせは、県警本部安全なまちづくり推進課☎862-0110(代表)※マップの有無に関するお問い合わせは、お近くの各小学校へお問い合わせください。

沖縄県警のデータから知る少年に関する概況

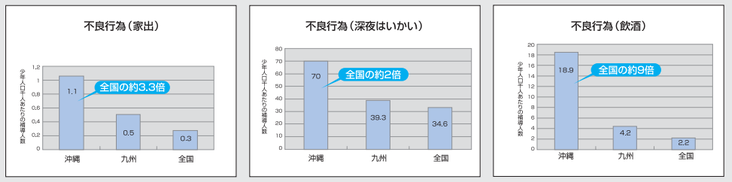
(資料提供:沖縄県警察本部・安全なまちづくり推進課)



少年人口は年々減少していますが、不良行為(家出・飲酒・深夜はいかい)は増加する傾向にあります。
※少年人口(6歳～19歳)は平成12年度の国勢調査より推計



H15年は前年に比べそれぞれが倍増しています。全国的にも増加傾向にあり子どもたちの安全が脅かされています。



「家出」・「深夜はいかい」は少年事件・事故の温床と言われています。
「飲酒」は全国の9倍。子どもたちへの酒類の提供や寛容さなど、県民の「飲酒」に対する認識の甘さがよく指摘されますが、その影響も否めません。

地域みんなで育てる!

那覇市青少年健全育成市民会議(市民会議)

市民会議は昭和56年に結成され、次世代を担う青少年の健全な育成を図るために活動をしています。現在、市民会議の下部組織である「中学校区青少年健全育成協会議(青少協)」では、中学校区を単位に文化祭など地域の特性を生かした活動を行っています。その他、今年は少年の悪質な犯罪が多発する実情を受け「青少年健全育成に関する緊急アピール」を課行うなど、地域に根ざした地道な活動を展開しています。17地区ある青少協の中から今年行われた健やかな青少年を育てる市民運動の2例を紹介します。

安岡中学校区(青少協)

9月11日(土)に曙小学校運動場で、恒例の十三回安岡中学校区少協地域「納涼盆踊りのタベ」が開催されました。

とくに安岡中学校生男生徒のソーラン節は、エネルギーに満ち溢れた動きと表情に、観客から盛大な拍手が送られました。子どもたちの「ふるさと」「居場所」づくりとして、また、地域のふれあいと絆を深めることができたのではないでしょうか。

小禄地区合同(銘苅中・小禄中・金城中)

10月16日(土)銘苅中学校体育館で文化祭をヤグラが設けられ保育園児、幼稚園児、小・中学生や婦人会のみなさん、総勢600名余の出演者で会場を盛り上げていました。

会場中央には、地域のみなさん、5000名余の参加者が盆踊りを楽しみました。

開催し、約900名の方で賑わいました。

展示の部では、小禄地区の各小学校生や幼稚園児、中学校・高校、那覇西高校や各PTA、地域の方々の絵画、書、工作品など合計689点の作品が発表され、訪れた方の目を楽しませていました。

また、自由に討論するグループディスカッション(NHKテレビ放映の「しゃべり場」を再現)では、中・高校生・青年と地域の大人がグループをつくり、各テーマごとに語り合いました。

"子どもから見た大人"については、「子どもには注意するのに自分はできない」、「ごみのポイ捨てをする」などの意見が子どもたちからあがり、また「親がきびしく言うとキツイけど、何も言われないと寂しい」と普段、口にして言えない親への感謝の気持ちを聞くことができました。

子どもたちにとっても、大人たちにとっても有意義なひとときを過ごすことができたようです。

青少年団体育成については、社会教育・スポーツ課(健全育成室)☎853-5775 那覇市青少年健全育成市民会議 ☎834-3741

青少年活動の促進

若い世代の人材育成を中心とした事業に活用してもらいたいと、平成15年1月に小禄出身者である、上原清善氏より那覇市へ500万円の寄贈をいただき、平成15年から16年度の事業として「プロジェクト未来なは」が実施されています。

「プロジェクト未来なは」とは…

若者の豊かな発想と企画力・運営により自由に学び、実践していく場を提供します。

若者自身の育成と若者による若者の人材育成を図り、活力ある未来のなはを創り出すことを目的としています。

若者のみなさんのすべてのエネルギーを、那覇の未来のために発揮できることを願います。活動内容などの詳しいお問い合わせは社会教育・スポーツ課(健全育成室)☎853-5775

参加団体の紹介

那覇市青少年健全育成市民会議　青年部
(部長　伊良波直子　31歳)

青少年の健全育成のための団体の一員として活動しています。「みんなで楽しく」をモットーにエイサー練習、ボランティア活動、講習会の開催、県外青年との交流などを楽しく活動しています。

那覇市青年団体連絡会
(会長　川田哲幸　26歳)

1993年に那覇の青年会を集め地域の芸能文化を広げ青年達の交流を図るという意思のもと、なは青年祭実行委員会を創設。その後、那覇市青年団体連絡会と名称を変え活動中。

地域ふれあいプロジェクト
(代表　大城雅史　21歳)

2002年より、地域内の異なる異年齢交流を目的に、識名小学校・石田中学校のOBである大学生によって創設。識名小学校の児童を対象に、レクリエーション・学習のケア・文化学習等、多彩な行事を企画・実施しています。

地域活性化協力隊
(代表　佐々倉祥於　26歳)

「自分や、仲間や、地域の人々と、『何かやりたい!』というエネルギーを共有し、刺激と影響を与え合う中で、すべての人々が自分らしく生きていけるようになること」を目指し、県内の大学生、若者を主体として、まちづくりワークショップなどの企画運営、まちづくり活動へのお手伝い、若者への情報発信・人材研修など、若者支援に関わる事業とまちづくりに関わる活動を展開しています。

Global Big Ring
(代表　島間大樹　27歳)

那覇の青年を中心に県内外を問わず交流するネットワークです。名前の通り、「沖縄から世界へ大きな輪(ネットワーク)で良いことを発信していく」という基本概念の元に活動しております。

地域ふれあいプロジェクト真和志
(代表　西江美喜　24歳)

「地域ふれあいプロジェクト真和志」は次年度から活動をスタートさせていこうと考えています。スポーツレクリエーション活動、環境美化活動、学習サポート活動などを通して、若者と子どもだけの交流だけでなく世代を超えた異年齢交流が出来るような地域内の関係作りを目指しています。

「子どもの居場所づくり」の実施場所

本庁地区		真和志地区	小禄地区	首里地区
天妃小	泊小	松島小	小禄南小	石嶺小
古蔵小	曙小	識名小	金城小	城南小
開南小	上山中(2カ所)	仲井真小	さつき小	大名小
垣花小	安岡中	真嘉比小	高良小	城西小
城岳小	古蔵中	上間小	宇栄原小	石嶺中
神原小	神原中	真地小	小禄小	首里中
前島小	那覇中	松城中	小禄中	首里公民館
大道小	若狭公民館	松島中		
若狭小	県立武道館	安里会館		

「子どもの居場所づくり」について

社会全体で子どもを育む、地域の環境づくりが全国で展開されています。学校の校庭や教室などを活用し、放課後や休日に安全で安心して活動できる、子どもたちの活動拠点を確保します。市でも42カ所の地域で「子どもの居場所づくり」が取り組まれ、スポーツや文化活動など多彩な活動が展開されています。

「子どもの居場所づくり」では、地域の大人や退職教員、学生などのボランティアを配置し、家庭教育の相談や学習方法などのサポートもあわせて行っています。

沖縄そばづくりに挑戦する子どもたち(識名小学校)

10月の「こころのパネル展」で展示した「こころ癒される言葉」人気ベスト2:『赤ちゃんの時は可愛いと言われて,花嫁の時は美しいと言われて,お婆ちゃんになったら,また可愛いと言われたいわ(永 六輔)』

「こころ癒される言葉」コーナーのご感想を下記までお寄せ下さい。
健康推進課:Eメール(h-kenko001@neo.city.naha.okinawa.jp)